

いきいき介護フォーラム

～地域で支える認知症～

入場料
無料

開催
日時

平成25(2013)年 **11月30日(土)** 10:00開場
(16:00終演)

会場: **LICはびきの** (羽曳野市立生活文化情報センター)

ホールM

手話通訳
あり

12:30開場
オープニング 13:15

講演参加方法 定員 **600人** (粗品進呈あり)
当日10:00より整理券を配布します(1人5枚まで)

第1部【講演】 13:30開演

講師: 宮川 花子 さん

「花子の生き生きライフ」

第2部【講演】 14:45開演

講師: 中村 成信 (なかむら しげのぶ) さん

**「ぼくが前を向いて歩く理由
～若年性認知症当事者の思いを語る～」**

司会: 原田 年晴さん (ラジオ大阪アナウンサー)
■主なレギュラー番組・ラジオ大阪(OBC)「ほんまもん!原田年晴です」

ホワイエ 12:30～16:00

認知症高齢者グループホームのパネル展示

アトリウム 10:00開始

展示コーナー

- ・介護保険事業所紹介
- ・作品展示 (デイサービス・施設利用者の作品)
- ・福祉用具展示
- ・オムツ展示・相談

体験コーナー

- ・水彩画・絵手紙
- ・キャリバ (脳・上肢運動機能促進トレーニング)

測定コーナー

- ・脳年齢・ストレスチェック

作成コーナー

- ・円座クッション作成 (ボランティアグループコスモス 協力)

ミニステージ(参加コーナー)

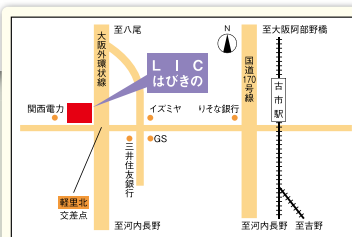
- ・AM: 体操レク、移乗介助等
- ・PM: ヘルパーさんのお仕事紹介 (DVD映像放映)



プロフィール:1979年、結婚。花子がよく喋り大助が相槌を打つスタイルで評判になる。その後、上方漫才の賞をいくつも獲得し、現在の地位を確立。しかし1988年頃から花子が体調を崩し活動を一時休業。後に胃癌であったことが発表されたが、病気を克服。1994年「愛をみつけた 大助・花子のおやオヤ日記」を出版。同書はNHK総合テレビ「愛をみつけた」の題でドラマ化された。2007年2月、大助が軽度の脳出血により入院するが、同年5月に復帰。2011年4月には「夫婦の職」を出版。現役夫婦コンビとして現在も活動し続けている。



プロフィール:1950年東京都生まれ。茅ヶ崎市職員時代の1999年には茅ヶ崎海水浴場を「サザンビーチがさき」と命名、翌2000年の「サザンオールスターズ茅ヶ崎ライブ」の実現に奔走。2006年2月、スーパーで万引きしたとして現行犯逮捕され、約2週間後には懲戒免職。その後、認知症の一つである前頭側頭型認知症(ピック病)と診断され、3年2か月に及び公平委員会のやりとりを経て、懲戒免職処分は撤回された。現在は、通院治療のかたわら、自宅近くの通所介護事業所でボランティアや、全国各地で講演を行っている。趣味は写真撮影。



■会場(周辺案内図)
LICはびきの
(羽曳野市立生活文化情報センター)
羽曳野市軽里1-1-1
駐車場あり(2時間以上 有料)
最寄り駅:近鉄南大阪線
古市駅(駅から西へ徒歩約10分)
最寄りのバス停:近鉄バス「軽里一丁目」下車
※駐車場には限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

●問合せ
羽曳野市 地域包括支援センター(高齢介護課内)
住所:〒583-8585 大阪府羽曳野市萱田4-1-1
電話:(直通)072-947-3822 FAX:072-950-1030
E-Mail:chiikihoukatsu@city.habikino.lg.jp